



令和2年11月  
大田区立保育園

冬は、風邪やインフルエンザなどの感染症が流行しやすい季節です。今年は新型コロナウイルス対策を継続しながら、インフルエンザにも注意して元気に過ごしていきましょう。

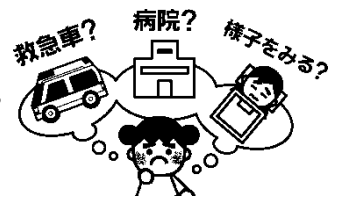


### 《 新型コロナウイルスとインフルエンザと風邪の違いについて 》

原因	新型コロナウイルス	インフルエンザウイルス	ウイルスや細菌による一般的な風邪
おもな症状	のどの痛み、咳、鼻水熱、だるさ、息苦しさ	38℃以上の高熱が多い咳・関節痛	くしゃみ、鼻水、咳、発熱(微熱)
症状のすすみ方	比較的ゆっくりだが、急激に重篤になることがある	急激な進行	比較的ゆっくり
合併症	肺炎、血栓症 脳卒中など	インフルエンザ脳症 肺炎など	中耳炎、副鼻腔炎 肺炎など
流行時期	不明	例年12月～3月頃	一年を通じて
予防接種	なし	あり	なし

### 《 インフルエンザ?と思ったら… 》

- ・早めにかかりつけ医に電話連絡し、受診するタイミングを相談しましょう。
- ・受診前に市販の解熱剤を使うのは避け、処方された薬を使用しましょう。



### 《 発熱外来・オンライン診療について 》

- ・コロナウイルスの感染拡大防止のため、発熱外来を設ける病院やオンライン診療のできるクリニックも増えています。症状や状況に応じて、活用してみるのもよいでしょう。
- ※詳しくは厚生労働省のホームページをご覧ください。



### 《 症状の変化にご注意ください 》

- ・異常行動(いつも出来ていることが出来ないなど)・けいれんを起こす・意識がもうろうとするなどの症状が現れた場合、脳症が疑われます。発熱して2日以内に発症しやすく、急激に悪化するためお子さんから目を離さないようにし、発症したら夜間でもすぐに受診しましょう。
- ・乳幼児は、解熱後も咳や鼻汁、下痢や嘔吐、腹痛などの症状が続く場合があります。症状があるときは、人が集まる場所への外出などは控え、かかりつけ医の指示に従いましょう。



### 《 予防接種の計画を立てましょう 》

- ・予防接種の効果は約6か月といわれています。また、予防接種を受けてから、効果がでるまで約4週間かかるともいわれています。例年12月～3月位に流行することを考えると、11月終わりまでに接種(子どもは2回接種)しておくことをお勧めします。
- ・家族も一緒に接種して家族内感染を予防しましょう。

